

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

木村 憲一郎

きむら けんいちろう

研究者基本情報	
最終学歴	岩手大学大学院連合農学研究科地域資源経済学講座博士後期課程修了
取得学位	博士（農学）
学位取得年月	平成27（2015）年3月
出身地	福島県
専門分野	経済学、環境学、森林科学
担当科目	大学院：環境共生型農林業経営特論、資源・エネルギー特論、研究方法基礎演習 学部：森林・林業政策学、森林経営経済学、環境政策論、環境と資源管理、エネルギーと環境、生態系と環境、専門基礎演習、専門演習Ⅰ
所属学会	日本森林学会、林業経済学会、環境社会学会、東北森林科学会、東日本入会・山村研究会
長期研究テーマ	環境と地域資源に関する研究
短期研究テーマ	地方林政の展開と地域林業の振興に関する実証的研究
1年以内に発表予定の研究業績	「桐の最近の需給動向と産地の現状」

研究業績（2025年9月末日現在）

【論文】 （学位論文）	
1	「コナラ二次林の実生更新に関する実験生態学的研究」（単）『修士論文（岩手大学）』，1994年2月，全123頁.
2	「地方林政の実現に関する研究」（単）『博士論文（岩手大学大学院）』，2015年3月，全133頁.

（学術誌等査読付論文）	
1	「80年代の林業行政と林業財政」（共）『日林東北支誌』43巻，1991年8月，14-18頁.
2	「コナラ当年生稚樹の成長と樹形発達」（共・筆頭）『日林東北支誌』44巻，1992年12月，89-92頁.
3	「コナラ芽生えの成長発達に及ぼす種子重と光環境の影響」（共・筆頭）『日林論』104巻，1993年3月，545-546頁

4	「異なる光環境下におけるコナラ芽生えの物質分配様式」（共・筆頭）『日林東北支誌』45巻, 1993年12月, 137-140頁
5	「コナラおよびミズナラ実生の成長・発達と種子重」（共）『岩手大学農学部演習林報告』28巻, 1997年3月, 13-25頁.
6	「市町村森林整備計画の現実－福島県古殿町を例に－」（共・筆頭）『東北森林科学会誌』17巻1号, 2012年3月, 8-15頁.
7	「東日本大震災後の福島県森林・林業行政の取り組みと課題」（共・筆頭）『農村計画学会誌』33巻, 2014年11月, 209-214頁.
8	「県民の意向を反映した森林環境税の運用に関する一考察：いわての森林づくり県民税事業評価委員会の事例分析から」（単）『林業経済研究』62巻2号, 2016年7月, 1-10頁.
9	「東日本大震災が福島県相双地方の林業・木材産業に与えた影響と森林・林業行政の取り組み」（単）『林業経済研究』62巻3号, 2016年11月, 68-77頁.
10	「製材・チップ需要下における福島県の林業・木材産業構造と国産材供給拡大への課題－1960年代以降の木材需給と木材産業の史的分析から」（単）『東北森林科学会誌』23巻1号, 2017年3月, 1-10頁.
11	「2000年代以降における都道府県林務行政組織の変容に関する実証的研究－林務職員数の変化と福島県の事例調査を中心に－」（単）『林業経済研究』63巻3号, 2017年11月, 61-70頁,
12	「2000年代以降における木材供給システムの変容と林業の経営動向」（共・筆頭）『福島大学商学論集』86巻4号, 2018年3月, 1-18頁.
13	「原発事故が福島県の木材需給に与えた影響と林業・木材産業の現状」（単）『日本森林学会誌』101巻1号, 2020年2月, 7-13頁.
14	「都道府県林政における組織運営の実態－林業職採用試験の全国動向と福島県の事例－」（単）『林業経済』73巻2号, 2020年5月, 1-14頁.
15	「原発事故が特用林産物の生産・流通に与えた影響と今後の研究課題」（単）『日本森林学会誌』103巻1号, 2021年2月, 13-21頁.
16	「原子力災害下の林業・林産業と試験研究への期待」（単）『森林科学』91巻, 2021年2月, 10-12頁.
17	「施策の実行過程からみた市町村における農政と林政の違い」（単）『林業経済研究』67巻1号, 2021年3月, 41-47頁.
18	「会津桐を取り巻く流通・需要の現状」（共）『関東森林研究』72巻1号, 2021年3月, 13-16頁.
19	「福島県林業研究センターにおける森林放射能研究：これまでの成果と今後の方向性」（共）『水利科学』66巻4号, 2022年10月, 61-78頁.
20	「原発事故からおよそ10年が経過した福島の森林利用の状況」（単）『日本森林学会誌』105巻3号, 2023年3月, 96-102頁.
21	「地域経済と試験研究をめぐる新たな視座－森林系公設試験研究機関の組織分析から－」（単）『富士大学紀要』57巻1号, 1-14頁.

【その他の執筆】

1	「暗渠排水資材の排水特性に関する比較検討」（単）『林道研究会 林道』298巻，1996年5月，27-30頁.
2	「暗渠排水資材の排水特性に関する比較検討」（単）『林道研究発表論文集』32巻，1997年5月，77-81頁.
3	「民有林林道工事コンクール受賞工事紹介 平成10年農林水産大臣賞 広域基幹林道「上高部戦」」（単）『林業研究会 林道』332巻，1999年3月，23-24頁.
4	「コスト縮減に係る暗渠排水工の選定」（共）『治山林道研究発表論文集』35巻，2000年2月，32-35頁.
5	「水環境に着目した森林の機能評価と施業のあり方について」（単）『森林計画研究会会報』425巻，2006年3月，21-25頁.
6	「水源地の脆弱性を判断する既存の指標等の事例について」（単）『水源地の森林脆弱性指標検討委員会報告書』，2007年3月，118-129頁.
7	「福島空港における森林環境ゼミナール」（単）『林業福島』556巻，2012年12月，7頁.
8	「ドイツ・フォレスター研修に参加して」（単）『林業福島』569巻，2012年1月，8頁.
9	「震災下の福島県林政と地域の森林」（単）『東日本入会・山村研究会報』7巻，2015年3月，23-30頁. ☒
10	「震災被災地での普及指導活動で想うこと」（単）『林業福島』621巻，2016年5月，8頁.
11	「相双普及地区で必要とされる普及課題」（単）『林業福島』632巻，2017年4月，8頁.
12	「他行政分野からみた都道府県農政の特徴と課題」（単）『平成31年度普及指導員等調査研究実績報告書』，2020年2月，1-8頁.
13	「福島の林業・木材産業の成立過程と現局面」（単）『林業経済』72巻2号，2020年5月，19-21頁.
14	「福島の森林・林業と復興への課題」（単）『農村と都市を結ぶ誌』831巻3号，2021年3月，31-39頁.
15	「福島林業研究会キックオフ・シンポジウムー福島林業のいまを探り、これからを考えるー」（単）『林業経済』74巻1号，2021年6月，27-31頁.
16	「震災10年を迎えた福島の森林・林業ー復興の現状と残された課題ー」（単）『木材情報』2021年7月号，2021年7月，6-9頁.
17	「福島県の森林・林業と地域」（共）『山林』1651巻，2021年12月，17-25頁.
18	「受賞論文の紹介と福島県の林業・木材産業のこれから」（単）『林業福島』691巻，2022年3月，5-7頁.
19	「福島第一原子力発電所事故の影響を受けた森林の資源利用システムの開発について」（共）『森林技術』962巻，2022年6月，32-35頁.

20	「地域資源を活かした地域経済の活性化」（単）『協同組合研究誌にじ2022冬号』2022年12月, 42-51頁.
21	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第1回 初めての林業職の仕事ー」（単）『山林No1688』2025年1月,32-35頁.
22	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第2回 技術者意識の芽生えー」（単）『山林No1689』2025年2月,36-39頁.
23	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第3回 初の本庁勤務 間伐の推進と県産材の振興ー」（単）『山林』2025年3月, 44-47頁.
24	「巻頭言 入会研究会への期待ー実務と研究の壁を破るー」（単）『東日本入会・山村研究会報』第15号, 2025年3月, 1頁. ☒
25	「最近の環境問題と社会の動き」（共・筆頭）, 富士大学学術研究会報『星辰』第105号,2025年3月, 1-6頁
26	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第4回 福島県森林環境税の立ち上げー」（単）『山林No1691』2025年4月,34-37頁.
27	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第5回 新任係長、林業普及指導活動、市町村森林整備計画の仕事ー」（単）『山林No1692』2025年5月,40-43頁.
28	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第6回 東日本大震災と原発事故の仕事ーその1ー」（単）『山林No1693』2025年6月,36-39頁.
29	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第7回 東日本大震災と原発事故の仕事ーその2ー」（単）『山林No1694』2025年7月,44-47頁.
30	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第8回 東日本大震災と原発事故の仕事ーその3ー」（単）『山林No1695』2025年8月,48-51頁.
31	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第9回 林業行政以外の仕事を振り返るー」（単）『山林No1696』2025年9月,50-53頁.
32	「シリーズ 林業行政マンとしての仕事を振り返ってー第10回 研究を支える仕事ー（単）『山林No1697』2025年10月,46-49頁.
33	「特集 平成林業逸史（63）ー福島原発事故と県林業職ー」（単）『山林No1697』2025年10月,10-18頁.

【学会発表】

1	「地域の森林・林業と市町村森林整備計画ー福島県古殿町を例にー」第122回日本森林学会大会, 2011年3月.
2	「市町村森林整備計画制度の問題点」第123回日本森林学会大会, 2012年3月.
3	「森林環境税の取組事例から見た地方林政の課題と展望」第124回日本森林学会大会, 2013年3月.
4	「先進的林業諸国との比較による我が国森林行政の課題」林業経済学会2012秋季大会, 2013年11月.
5	「東日本大震災後の福島県森林・林業行政の取り組みと課題」農村計画学会秋期大会, 2014年11月.

6	「東日本大震災が福島県相双地方の 森林・林業に与えた影響と復興への課題」第127回日本森林学会大会，2016年3月.
7	「地域を基軸とした 都道府県林政の変化と課題－福島県における林業普及指導活動を中心とした分析から－」林業経済学会2016年秋季大会，2016年11月.
8	「自治体林政の守備範囲の変容とその特徴」林業経済学会2017年秋季大会，2017年11月.
9	「他行政分野からみた自治体林政の特徴」林業経済学会2018年秋季大会，2018年11月.
10	「原発事故と特用林産物の生産・流通」林業経済学会2019年秋季大会，2019年11月.
11	「森林利用の現状からみた福島における森林管理の課題」第26回東北森林科学学会大会，2021年11月.
12	「2000年代以降における全国公設林業試験研究機関の組織運営と研究の動向」第133回日本森林学会大会，2022年3月.
13	「4年制大学における森林科学教育の現状と今後の方向-技術者教育の視点から-」日本森林学会企画シンポジウム，2022年3月.
14	「『森林科学』誌は創刊時の想いを実現できたのか、実現できるのか？」日本森林学会企画『森林科学』誌100号記念座談会，2023年9月.
15	「福島の森林・林業をめぐる最近の動き」福島林業研究会シンポジウム2024-森林と時間in 福島:福島の林業現在・過去・未来，2024年12月.
16	「経済的視点から見た国産桐の現在・過去・未来」令和6年度福島県林業研究センター研究成果発表会，2025年2月.
17	「森林開発に関する我が国諸制度の運用実態」第136回日本森林学会大会，2025年3月.
18	「福島発原発事故から14年を経た福島の森林利用」第71回環境社会学会大会，2025年6月.

【教職歴】

1	林業アカデミーふくしま短期研修 講師，2021年4月～2024年3月.
2	林業アカデミーふくしま就業前長期研修 講師，2022年4月～2024年3月.

【内外における公開講座等の講師】

1	「森林環境税を財源とした水源区域の森林整備」全国治山シンポジウム第44回，2006年10月.
2	「なぜ森林整備が地球温暖化防止につながるのか？」福島県技術士会CPD研修会，2010年11月.
3	「地域林業の振興に向けた普及指導活動の内容」福島県林業普及指導員全体研修会，2011年2月.
4	「ドイツ・フォレスター研修に参加して」福島県林業研究グループ等活動発表会，2012年2月.
5	「震災下における福島県林業・木材産業の現状と課題」第202回岩手県木を勉強する会，2015年5月.
6	「相双地方の森林・林業の再生に向けた方向性と新たな木構造」相双地方森林・林業教室，2016年3月.

7	「木材市況を見据えた選木と採材技術の習得」相双地方森林・林業教室，2016年5月．
8	「福島県の木材需給と林業復興に向けた課題」相双地方森林・林業教室，2017年7月．
9	「森林・林業行政の現状と専門教育への期待－都道府県林政を中心に－」森林総合研究所森林・林業教育シンポジウム：森林・林業の専門教育を語る，2018年2月．
10	「福島の林業・木材産業の成立過程と現局面」林業経済学会・福島大学食農学類（仮称）合同シンポジウム：福島の森林利用と文化の再構築に向けて，2018年10月．
11	「震災以降、森林との関わりはどう変わったか？」福島林業研究会キックオフ・シンポジウム：福島林業のいまを探り これからのを考える，2020年12月．
12	「令和4年度以降の研究方向と林業アカデミーふくしま」福島県林業研究センター研究成果発表会，2021年2月．
13	「農業関連産業論－本県の森林と森林の役割、木の育て方と収穫、森林ビジネス－」福島県農業短期大学校，2021年8月．
14	「福島の1年の動き」福島林業研究会シンポジウム：少し視点をかえて福島の林業のあり方を考える，2021年11月．
15	「学会賞受賞報告」福島県林業研究センター研究成果発表会，2022年2月．
16	「就職現場からのコメント」日本森林学会企画シンポジウム：4年制大学における森林科学教育の現状と今後の方向-技術者教育の視点から-，2022年3月．
17	「会津の森林・林業をよくするための基礎知識」会津流域林業活性化センター緑の教室，2022年7月．
18	「震災11年目の福島県の森林・林業と普及指導」林業普及指導員北海道・東北ブロックシンポジウム，2022年8月．
19	「グリーン社会の実現に向けて－なぜ今『森林・林業』なのか－」会津流域林業活性化センター林業活性化講演会，2023年11月．
20	「奥会津地域の森林・林業の特徴とこれからの利用」奥会津地域における森林活用講演会，2024年3月．
21	「新時代の林業と森のゆくえ」富士大学花巻市民セミナー，2024年9月．
22	「桐の新たな価値発見×つなぐ」福島県事業－桐と桐の恵みを「つなぐ」植樹祭－，2024年10月．
23	「グリーン社会実現のために－2つの現状分析と福島の実践事例から－」富士大学・岩手県セミナーin Morioka，2024年10月．
24	「Thinking About a Global Environmental Problem through a Local Perspective」第26回CHUO国際教育フォーラム・グローバルフェスティバル2025，2025年5月．
25	「生物の世界も多様性？『ネイチャーポジティブ』から地域活性化を考える」令和7年度富士大学花巻市民セミナー，2025年9月．

【社会的活動】

1	林野庁水源地の森林脆弱性指標検討委員会，特別委員；2007年1月～3月．
2	全国林業普及指導職員協議会，会員；2010年4月～2013年3月．
3	古殿町森林資源活用事業検討委員会，委員；2012年9月～2013年3月．
4	福島県林業普及指導員協議会，幹事；2015年4月～2018年3月．

5	南相馬市農林水産業再興プラン作業部会， 委員；2015年9月～2016年3月.
6	福島林業研究会， 事務局;2020年7月～現在に至る.
7	公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社会津事業所， 所長；2022年4月～2024年3月.
8	全会津森林組合連絡協議会， 顧問；2022年4月～2024年3月.
9	会津流域林業活性化センター， オブザーバー ；2022年4月～2024年3月.
10	会津農林事務所管内建設工事安全推進協議会 副会長；2022年4月～2024年3月.
11	会津地方山火事防止地区連絡協議会 会員；2022年4月～2024年3月.
12	会津キリ振興連絡協議会， 参与；2022年4月～2024年3月.
13	NPO法人会津の森林を育む協議会， 顧問；2022年4月～2024年3月.
14	喜多方市漆栽培振興連絡協議会， 理事；2022年4月～2024年3月.
15	三島町地域循環共生圏推進協議会， アドバイザー ；2022年4月～2024年3月.
16	林業経済研究所タスクフォース， 招聘委員；2022年8月～12月.
17	東日本入会・山村研究会， 運営委員；2023年8月～2025年8月.
18	いわき市社会福祉協議会災害ボランティア活動；2023年9月～2024年3月.
19	岩手大学農学部附属寒冷FS教育研究センター共同利用運営委員会， 委員；2024年4月～
20	盛岡市林業振興審議会， 委員；2024年4月～
21	花巻市（仮称）花巻地区かわまつづくり計画策定協議会， 会長；2024年7月～
22	柳津町森林資源活用ビジョン構想検討委員会， アドバイザー；2024年7月～
23	会津里山森林資源活用研究会， 顧問；2025年4月～
24	一般社団法人ビジネスサポート花巻， 監事；2025年6月～
25	東日本入会・山村研究会， 監事；2025年8月～現在に至る.

【受賞歴】

1	福島県治山林道研究会 最優秀賞， 1996年7月.
2	全国林道研究会 奨励賞， 1996年10月.
3	福島県治山林道研究会 優秀賞， 1999年7月.
4	東北北海道治山林道研究会 最優秀賞， 1999年11月.
5	全国森林計画発表会 佳作， 2006年2月.
6	福島県林業普及指導活動発表会 優秀賞， 2011年2月.
7	日本森林学会誌論文賞， 2020年3月.
8	東北森林科学会賞， 2021年12月.
9	林業経済学会奨励賞， 2022年3月.
10	富士大学 優秀教員表彰， 2025年9月.

【競争的外部資金による研究】

1	農林水産分野の先端技術展開事業のうち研究開発補助金「3Dスキャナ搭載ドローンと深層学習を活用した帰還困難区域等の森林資源利用システムの開発」 研究代表者；2021年4月～2022年3月.
2	一般財団法人新技術振興渡辺記念会 科学技術調査研究助成「木質バイオマスの熱利用普及に関する技術的課題と政策的展望」 共同研究者；2024年10月～

3	公益社団法人 国土緑化推進機構 緑と水の森林ファンド 公募助成「特用樹を活かした地域活性化―全国優良事例と好循環の要因を探る―」 研究代表者；2025年7月～
---	---

【特許】

1	森林資源計測システムおよび森林資源算出方法（特許番号第7287620号）；2023年6月.
---	---

【実務研究歴】

1	福島県林業研究センター 副所長（研究職）；2020年4月～2022年3月.
---	---------------------------------------